

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 11-005
 担当 田中
 内線等 316

PDCA	事務事業名	地産地消費及事業	部課等名	市民経済部 経済課 農務担当			
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第3章 にぎわいの創出と良好な環境が両立するまち 節： 第1節 観光・産業の振興 基本施策： 2. 農業 単位施策： (3) 市民の農業に対する理解の向上 個別施策： ③食育の推進					
	根拠法令等	-					
	対象・目的	児童体験農業や、第2次食育推進計画に基づき、食の安全安心確保のため、学校給食やはんだふれあい産業まつりを始めとしたイベントにおいて地産地消を図る。 市民農園・農業講座を通じて、農業や地産地消に関する意識の向上を図る。					
	目的を達成するための手段・活動内容	農業講座の開催 地産地消推奨事業(産業まつり苗配付) 児童体験農業ほ場管理委託 知多牛パンフレットの作成、周知					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	単位	
		①農業講座の開催	2	2	1	回	
		②児童体験農業の開催数	7	7	7	回	
		③市民農園面積	13,833	13,833	13,833	m ²	
		事業費	-	-	1,920	千円	
		人件費	-	-	3,614	千円	
	総事業費	-	-	5,534	千円		
	活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	単位		
	②児童体験農業1校当たりのコスト	71	71	71	千円		
	③市民農園1箇所当たりのコスト	-	-	187	千円		
成果	成果指標	29年度	30年度	元年度	単位		
	①農業講座受講者数	実績値	20	30	12	人	
		目標値	70	70	50		
		実績値					
		目標値					
		実績値					
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
事業の評価・課題	C 農業を始めたい方や関心がある方などを対象に、農業講座の開催、市民農園の管理を行った。また、農業の重要性や必要性を感じてもらうため、地元農家と協力し、小学校3校及び保育園4園を対象とした稲作体験・さつまいも作り体験を実施した。 市民農園の借地料については管理していくにあたり協議が必要。						
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	現状維持 引き続き、農業を始めたい方や関心がある方などを対象に、農業講座の開催、市民農園の管理を行う。また、地域の農業関係者に協力してもらい、子どもたちに手作業で農作業を体験してもらうことで、児童に地産地消に対する理解を深めてもらえるように努める。					
	令和2年度の目標	成果指標			目標値	単位	
		農業講座の受講者数			30	人	